

開催趣旨

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センターは、その設立以来、ICT（情報通信技術）の発展を梃子とした持続可能な地域づくりを目指してきました。そして、その活動の一環として、京都研究会を毎年開催し、ICTが拓く明日のまちづくりを基本テーマに、これまで、産・官・学・民の各セクターから多くの方々の協力を得て、情報発信を続けてきました。この京都研究会は、今年、第10回という節目を迎えることになりました。2008年は、再び原点に立ち戻るという意味もこめて、『持続可能な社会づくり』をテーマに掲げて、研究会を開催したいと思います。

持続可能な社会を目指す動きは、いまや世界標準となっている感があります。そのためには、まだまだ多くの場面で技術革新が必要とされていますが、特に、市民生活の日常を支える地域社会システムの技術革新は、きわめて大きな意味を持っています。2008年の第10回京都研究会では、まちづくりにおけるICTの活用、持続可能な環境のためのICTのあり方、ICTによる地域医療のイノベーションなどを取り上げ、先進的な技術革新とその社会への応用について考える機会を設けたいと思います。

第10回京都研究会は、ICTの技術革新と社会的活用を通じて、環境にやさしい持続可能な社会づくりを実現していくための大切なステップになるのではないかと考えております。ぜひとも多くの方々のご賛同とご参加を得て、活発な研究会とし、これからのまちづくりに結び付けていきたいと思っております。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

SCCJ代表理事 新川 達郎

『地域発・市民メディア』と『グリーンIT』最前線の事例から

持続可能な社会づくり

第10回京都研究会

<http://www.sccj.com/kk/2008>

SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2008年11月28日(金)
13時～17時半
京都市国際交流会館
イベントホール
定員220名

※事前申込先着順



研究会

13:00～17:30

- セッション1：「まちづくりとICT～出町界隈の活性化におけるメディア活用」
■ 進行：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター代表理事）
■ 講演：谷口 知弘（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授）、田中 恒（同志社大学大学院総合政策科学研究科院生）
- セッション2：「グリーンIT」
■ 進行：竹原 司（ナレッジオートメーション株式会社代表取締役/NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター副代表理事）
「ホームネットワークを活用した省エネの可能性」
■ 講演：岡部 寿男（京都大学学術情報メディアセンター 教授/みあこネット方式普及支援事業統括責任者）
「グリーンITを測る7つの視点～リコーにおける実践事例～」
■ 講演：阿久沢 了（株式会社リコー IT/S本部IT/S企画室副室長）
「グリーン・テクノロジー入門ー北米事情」
■ 講演：岸本 善一（IP Devices代表 工学博士）
「CIOの課題としてのグリーンIT」
■ 講演：森 泰成（アクセンチュア株式会社システムインテグレーション&テクノロジー本部インフラストラクチャコンサルティング統括パートナー）
- 『第4回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール』最優秀賞表彰式
- セッション3：「個人の生涯健康履歴管理をポケットカルテが支援します」
■ 講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医療情報部長/NPO法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター顧問）
- 会場参加者・演者を交えた総合討論会

演者を交えたレセプション(懇親会)

17:30～19:00

2階レストラン「ルヴェ・ソン・ヴェール」にて開催

主催：特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）

後援：京都府、京都市、京都新聞社、ITコンソーシアム京都

お問い合わせ：SCCJ(隔岡) TEL:075-645-7484, FAX:075-645-7488

会場地図



●お申し込み：下記ホームページからお申し込み頂けます。
<http://www.sccj.com/kk/2008> ※事前申込制

●参加費：有料

プラン	対象	一般	SCCJ会員・学生 (企業・団体/個人)
研究会のみ参加 (13:00～17:30)		1,000円	無料
研究会、懇親会すべて参加 (17:30～19:00)		6,000円	5,000円